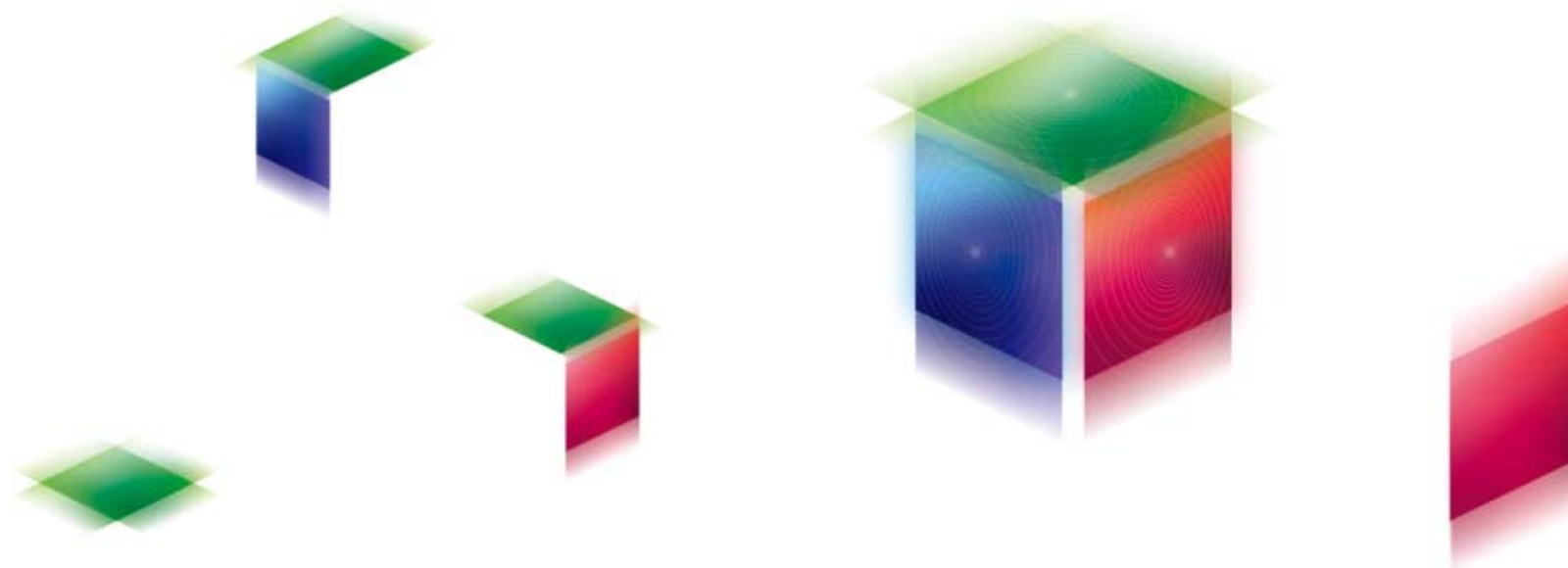


TOA株式会社

2011年3月期
第2四半期 決算説明会









2010年11月18日





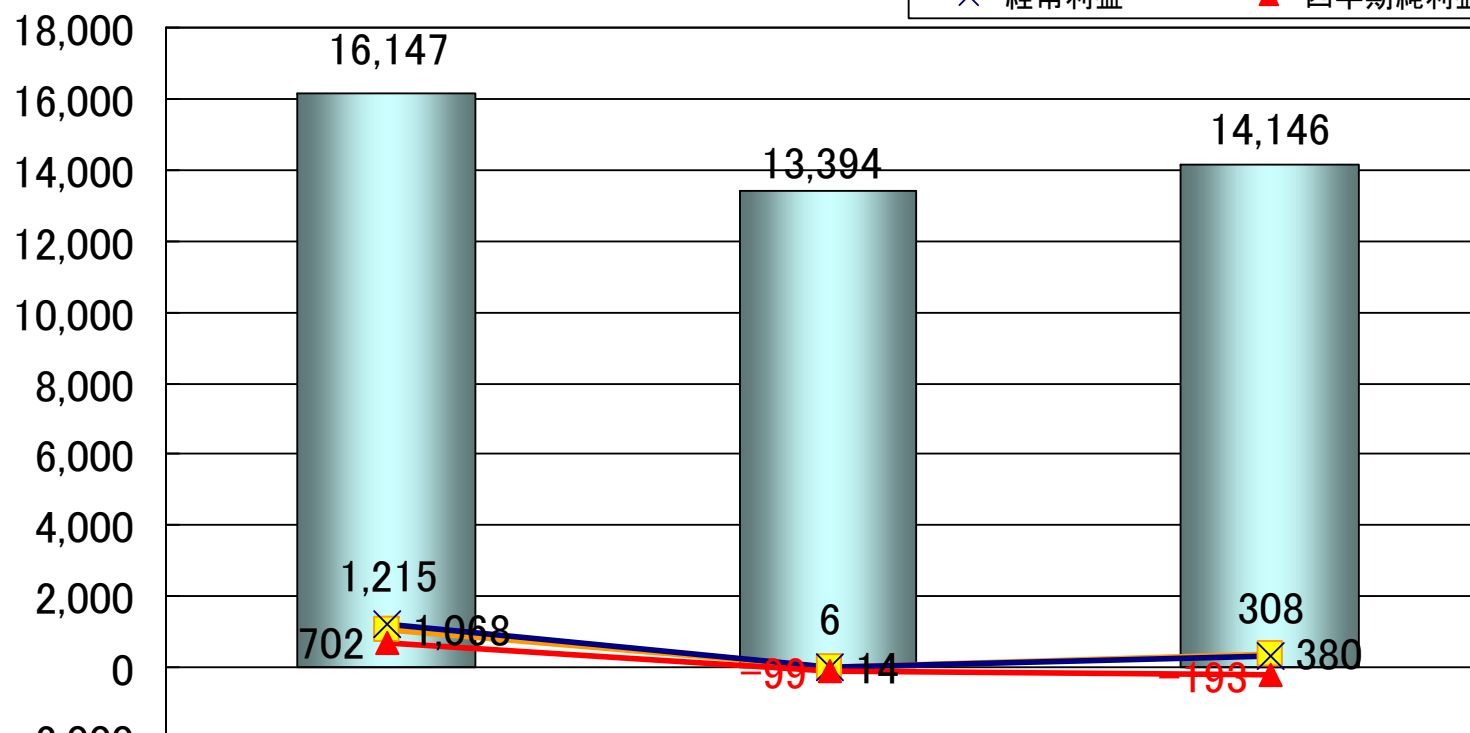
目次

-  2011年3月期 第2四半期の業績
-  当期の事業と次期の見直し
 -  中期6ヵ年経営基本計画進捗状況
 -  地域別の取り組み状況
 -  注目商品と新商品の紹介
-  2011年3月期の見通し

決算業績のまとめ

(単位: 百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益
✕ 経常利益 ▲ 四半期純利益



	2009.3月第2四半期	2010.3月第2四半期	2011.3月期 第2四半期
■ 売上高	16,147	13,394	14,146 (105.6%)
■ 営業利益	1,068	14	380
✕ 経常利益	1,215	6	308
▲ 四半期純利益	702	-99	-193

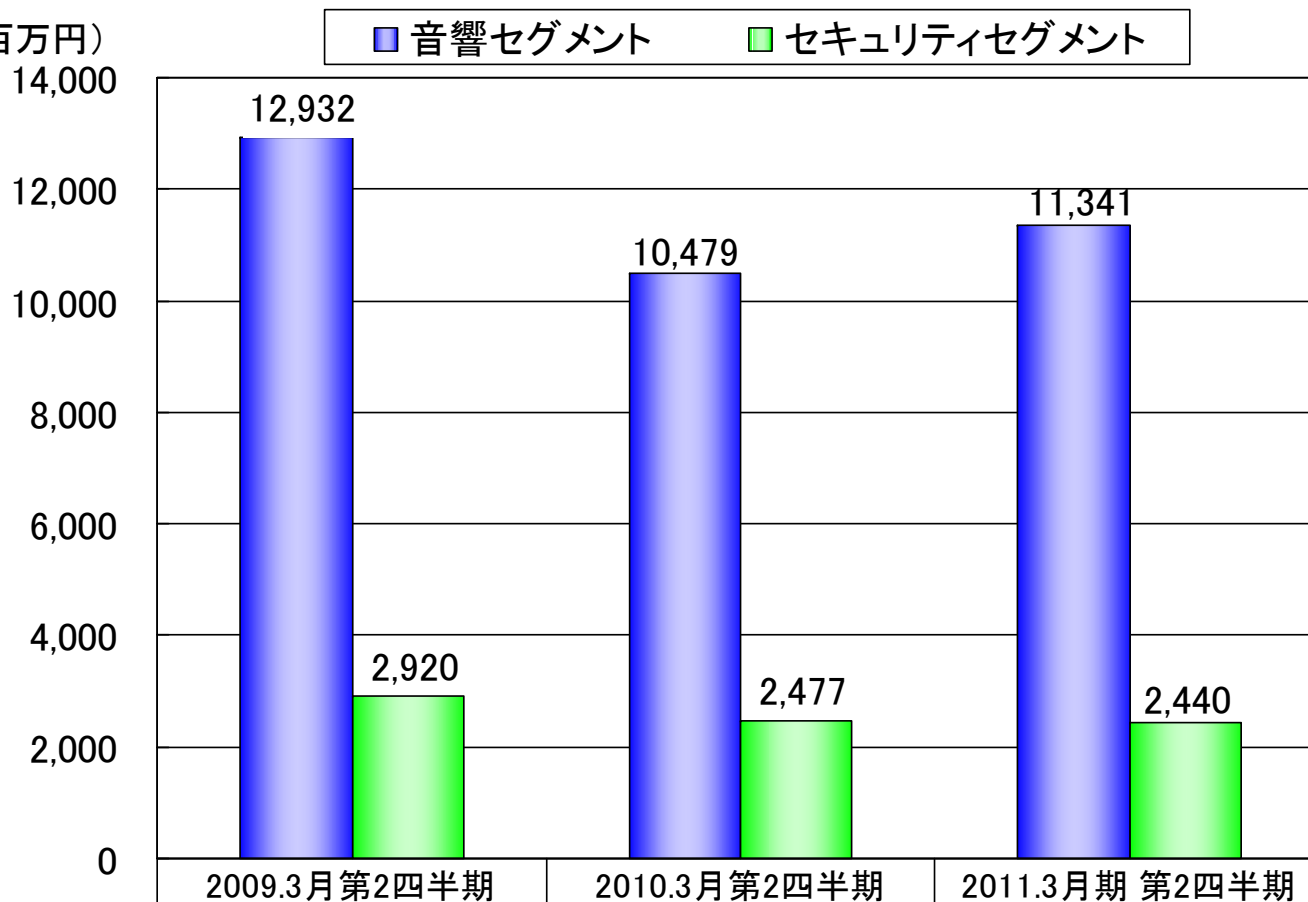
※(カッコ)内の数値は前期比



事業セグメント別概略実績【参考値】

※2011年3月期より、決算発表での開示セグメントを「所在地別セグメント」のみと変更いたしました。
当ページの記載内容は参考実績とさせていただきます。

(単位:百万円)

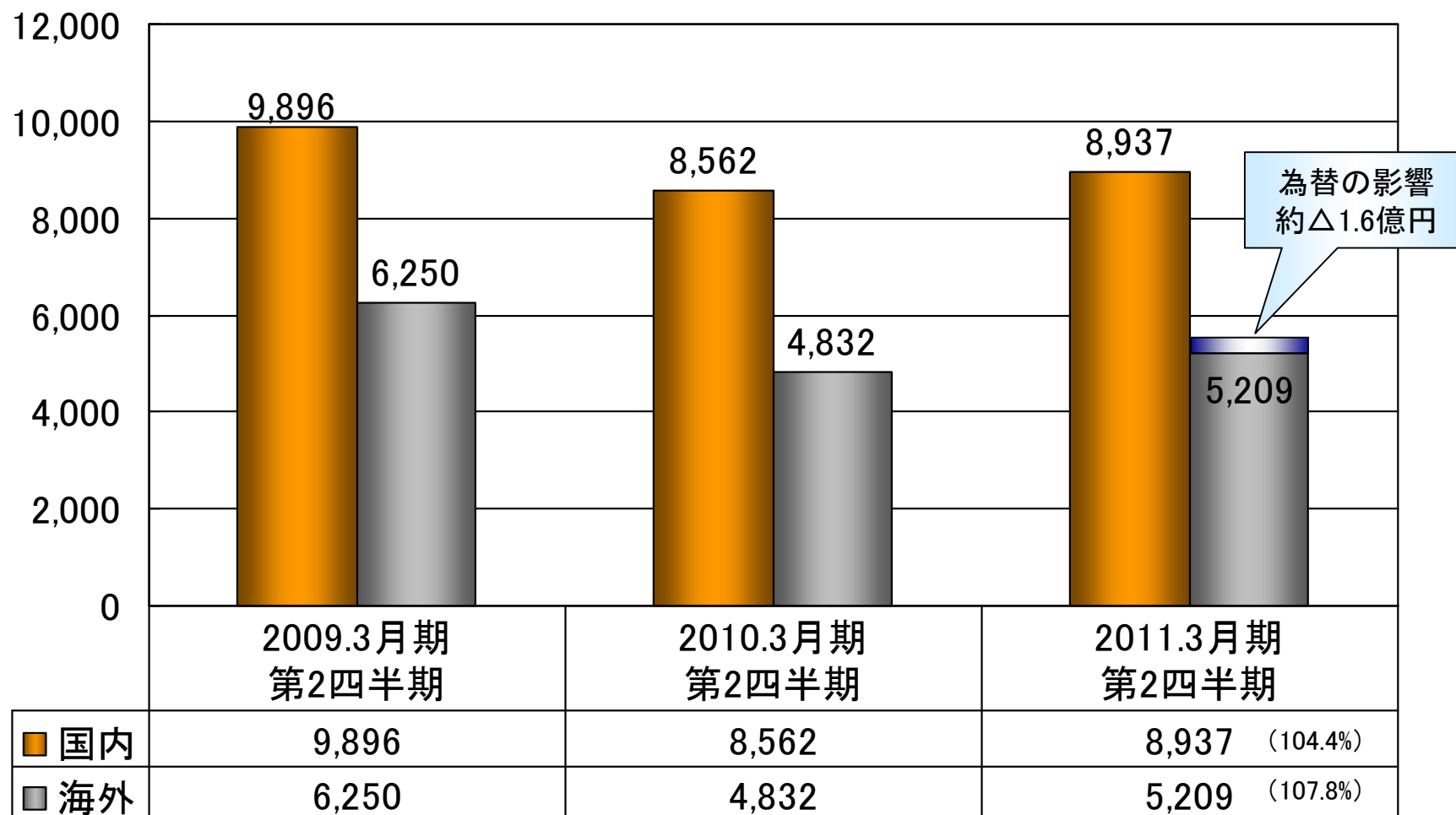


■ 音響セグメント	12,932	10,479	11,341 (108.2%)
■ セキュリティセグメント	2,920	2,477	2,440 (98.5%)

※(カッコ)内の数値は前期比

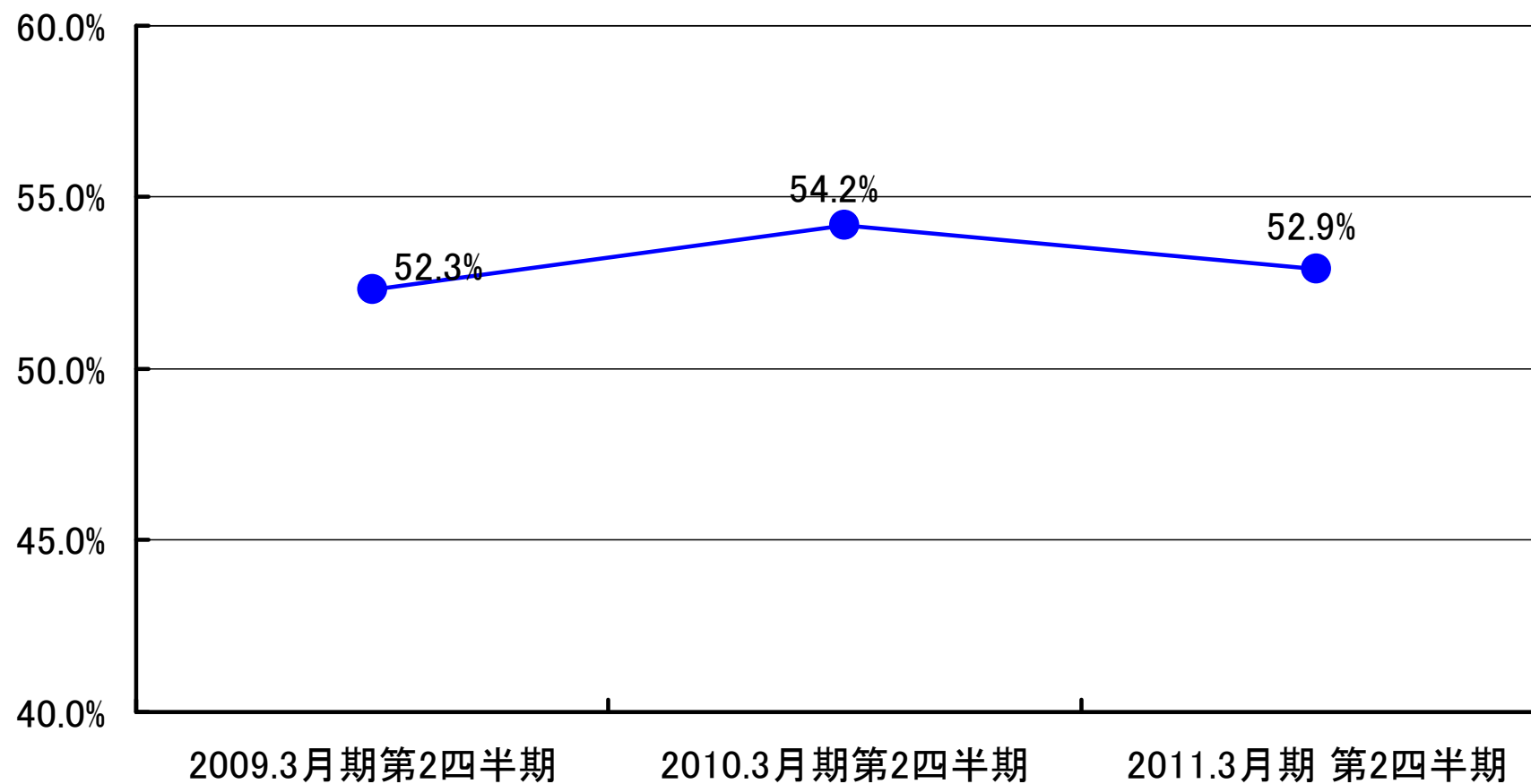
国内・海外別売上高

(単位:百万円)



※(カッコ)内の数値は前期比

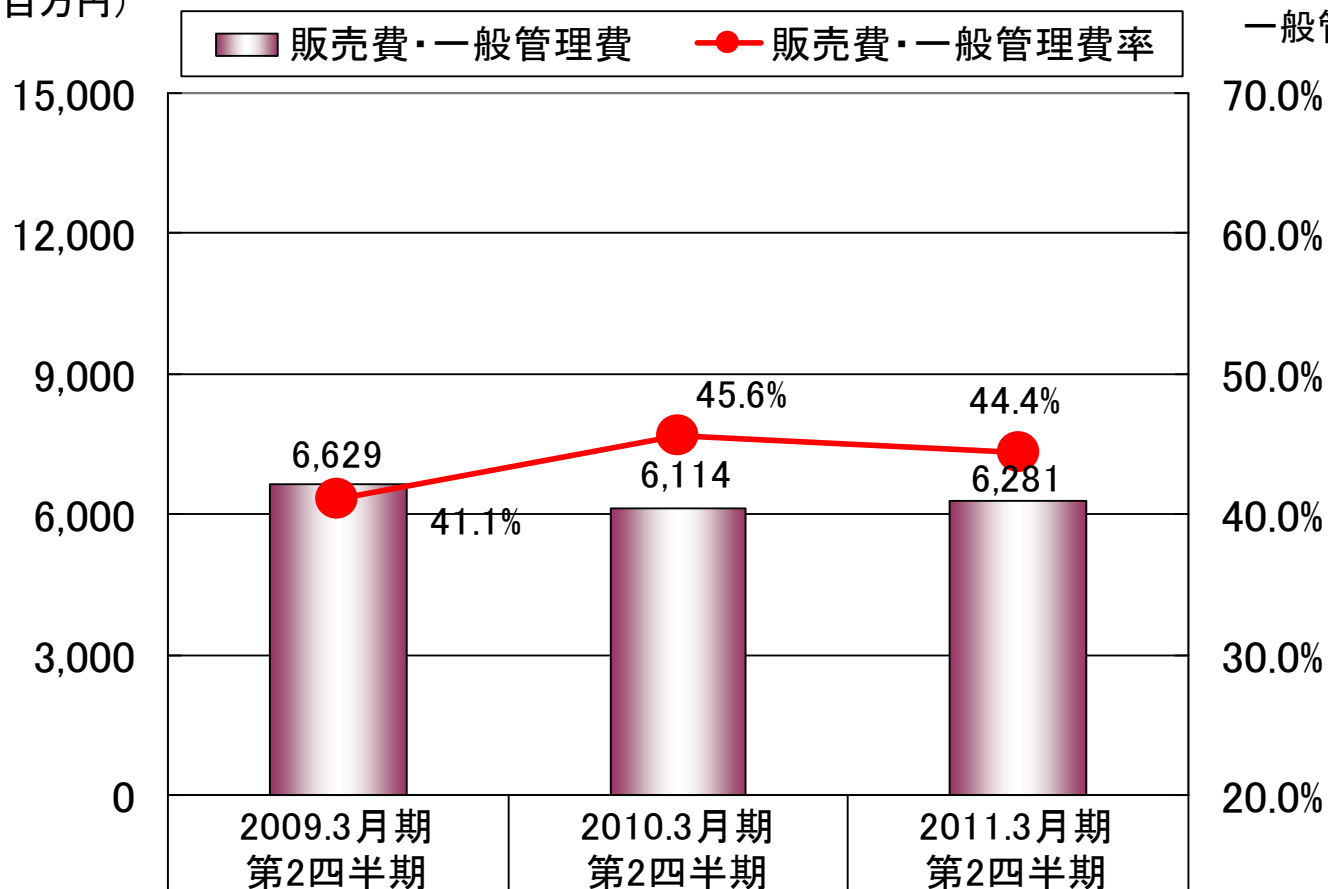
売上原価率の推移



販売費・一般管理費及び売上比率の推移

(単位:百万円)

(販売費・
一般管理比率)

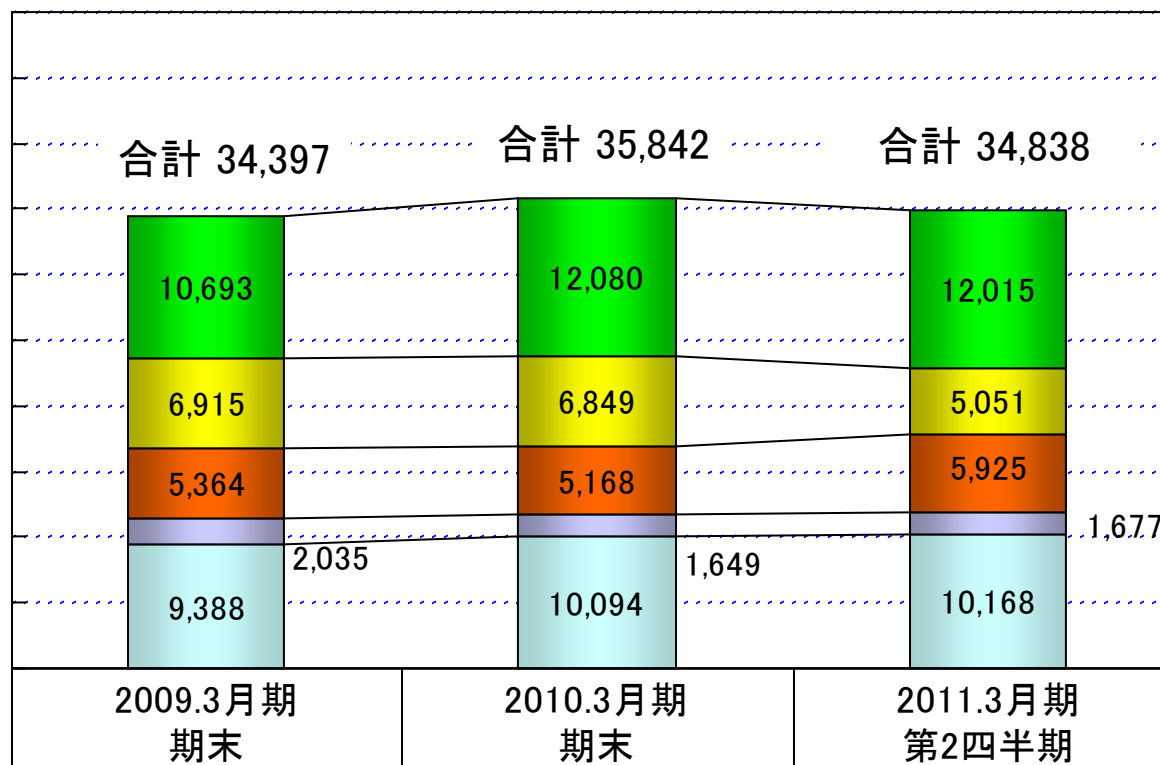


販売費・一般管理費	6,629	6,114	6,281
販売費・一般管理費率	41.1%	45.6%	44.4%

総資産／資産の部

(単位:百万円)

45,000
40,000
35,000
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0

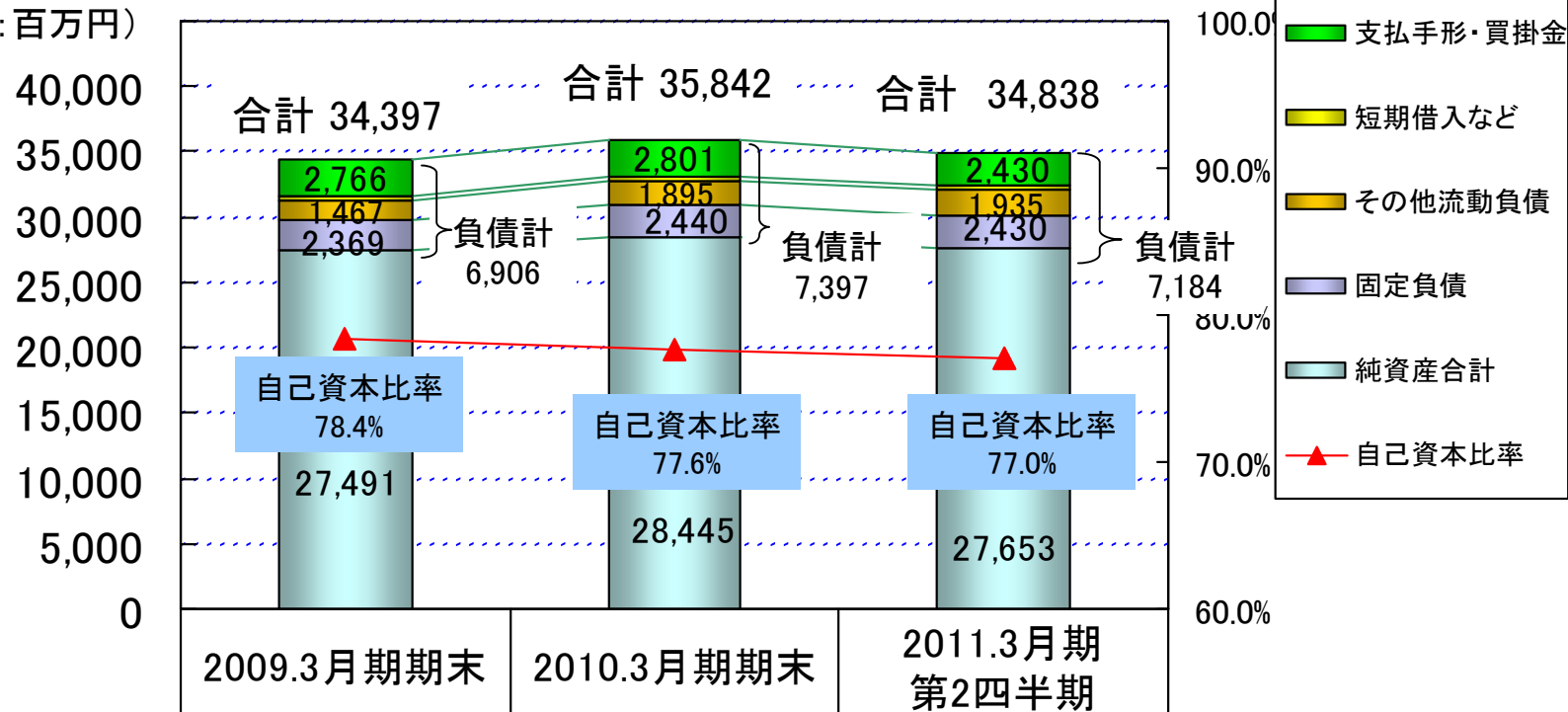


- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- たな卸資産
- その他流動資産
- 固定資産

■ 現金・預金	10,693	12,080	12,015
■ 受取手形・売掛金	6,915	6,849	5,051
■ たな卸資産	5,364	5,168	5,925
■ その他流動資産	2,035	1,649	1,677
■ 固定資産	9,388	10,094	10,168

総資産／負債・資本の部

(単位:百万円)

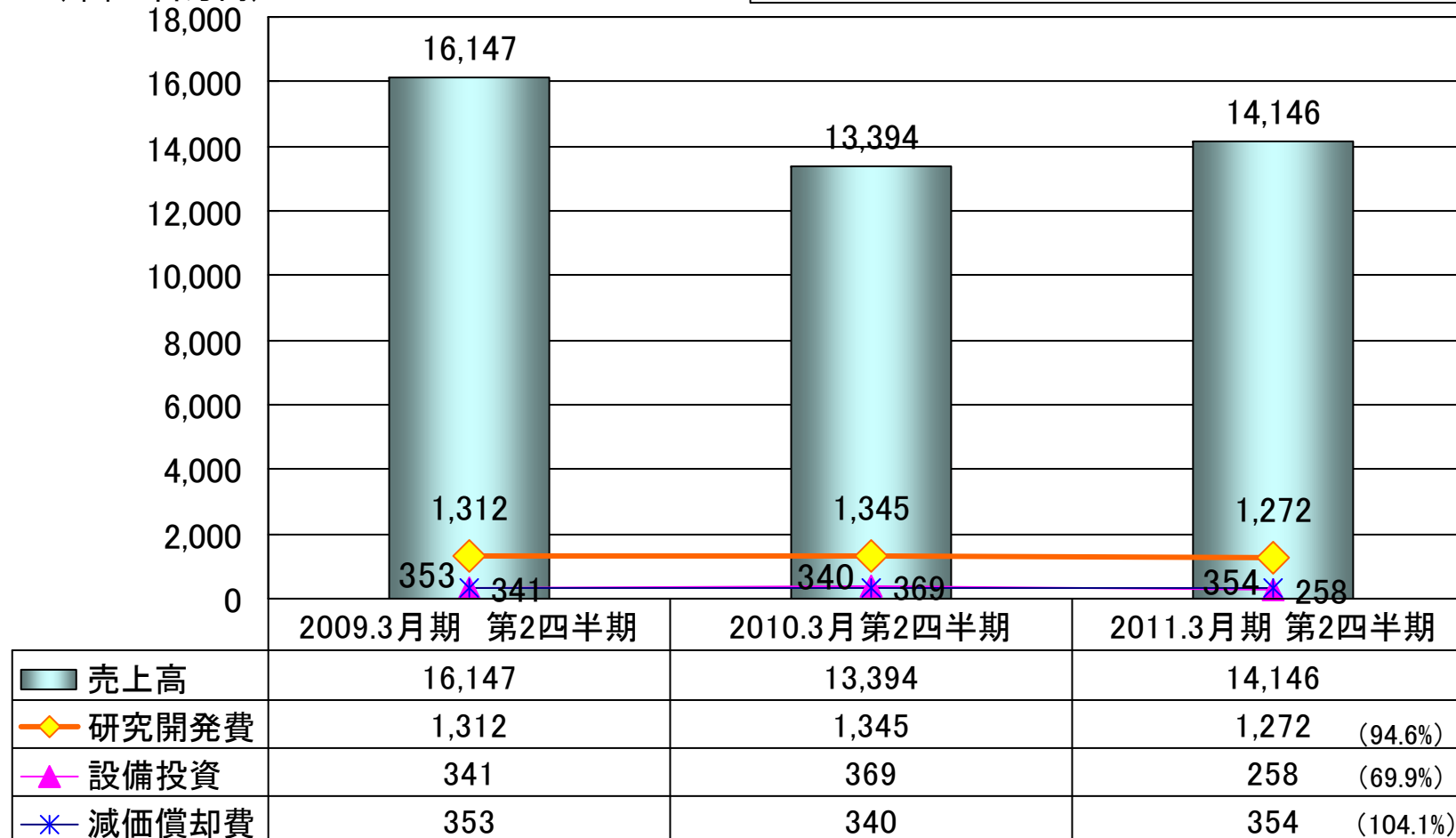


支払手形・買掛金	2,766	2,801	2,430
短期借入など	302	261	388
その他流動負債	1,467	1,895	1,935
固定負債	2,369	2,440	2,430
純資産合計	27,491	28,445	27,653
自己資本比率	78.4%	77.6%	77.0%



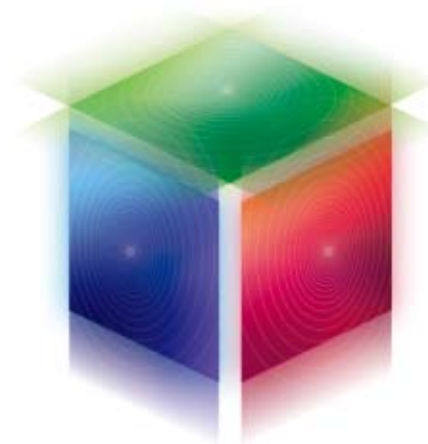
研究開発費・設備投資と減価償却費の推移

(単位:百万円)



※(カッコ)内の数値は前期比


当期の事業と次期の見通し



当期のトピックス

 インドネシア販社設立

 タイ販社設立

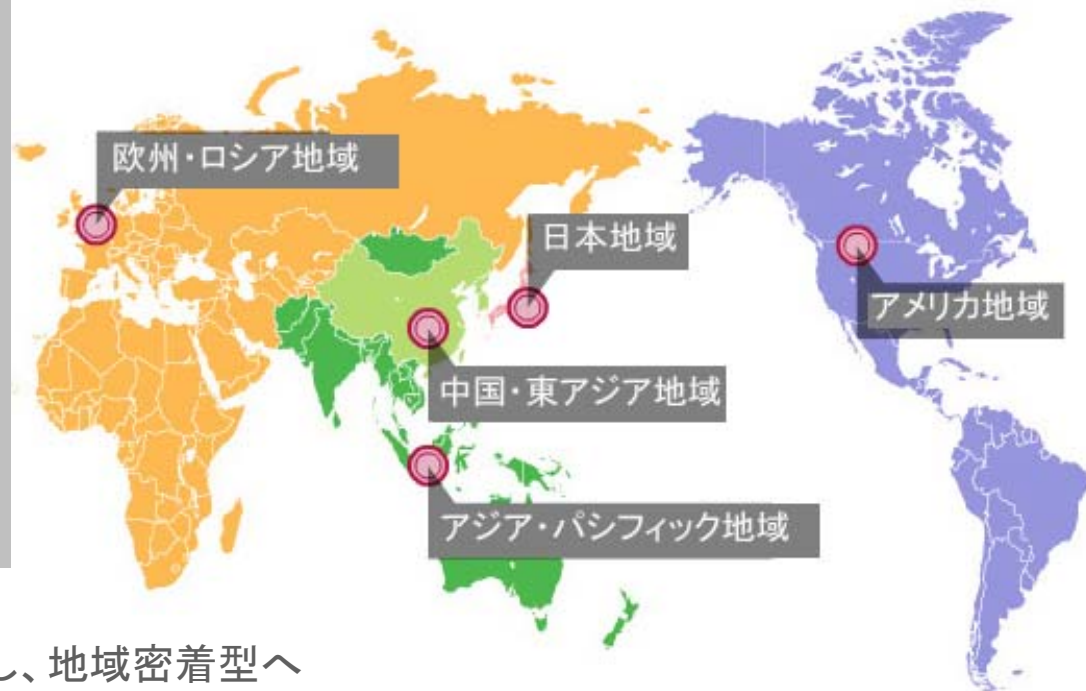
 ニューヨーク地下鉄

認定業者資格取得のための長期品質テストが順調

中期6カ年経営基本計画 計画の骨子と進捗状況

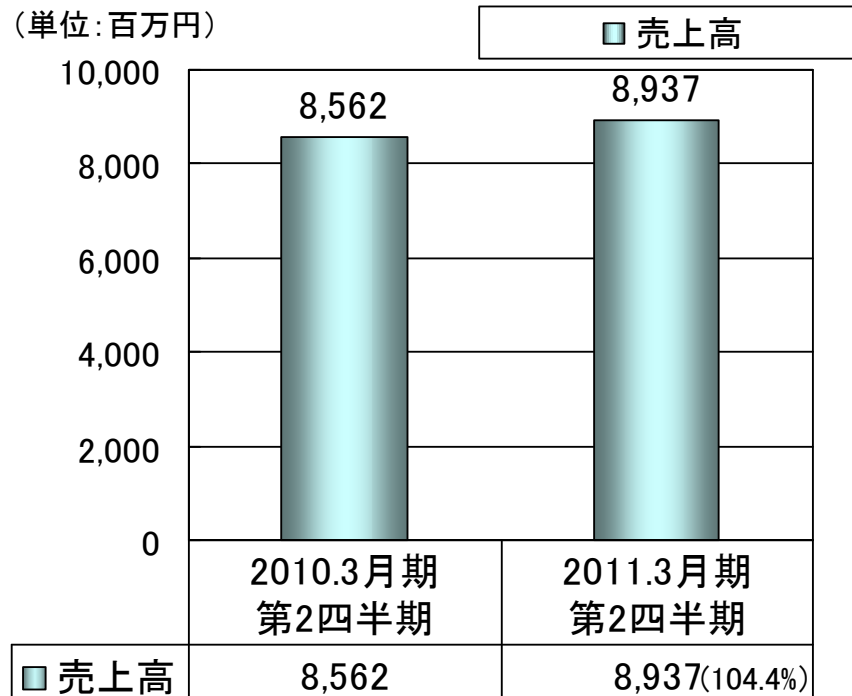
2010年3月期～2015年3月期の6カ年計画

- ・ 海外を4地域に分け、各地域の需要に密着した商品で、売上拡大を目指す
- ・ 地域密着型のビジネスモデルの構築
- ・ それぞれの地域において
 - 「ローカル商品の開発・生産」
 - 「その地域の工場からローカル商品を仕入れ販売」
 - 「地域に密着したアフターサービス」



- ・ 「輸出」のビジネスモデルを脱却し、地域密着型へ
- ・ 第62期(2010年3月期)は、アジア・パシフィック地域で、地域密着型の新ビジネスモデルを立ち上げることに成功

地域別取り組みについて ~日本地域~



※(カッコ)内の数値は前期比

主な大型案件・納入事例

- ・ 国際空港(「羽田空港新国際線ターミナル」)
- ・ JR大阪駅再開発に伴う大型商業施設



新市場 街頭防犯カメラへの取り組み

- ・ 街頭犯罪多発地域や歓楽街の街頭にて、地元警察による防犯カメラの設置が進む
- ・ TOAの防犯カメラシステムが採用

地域別取り組みについて ~日本地域~

新市場「安全・安心 防災ネットワーク市場」への取り組み状況



基地局



IIP告知端末(品番: NX-220HU)



屋外放送用スピーカー

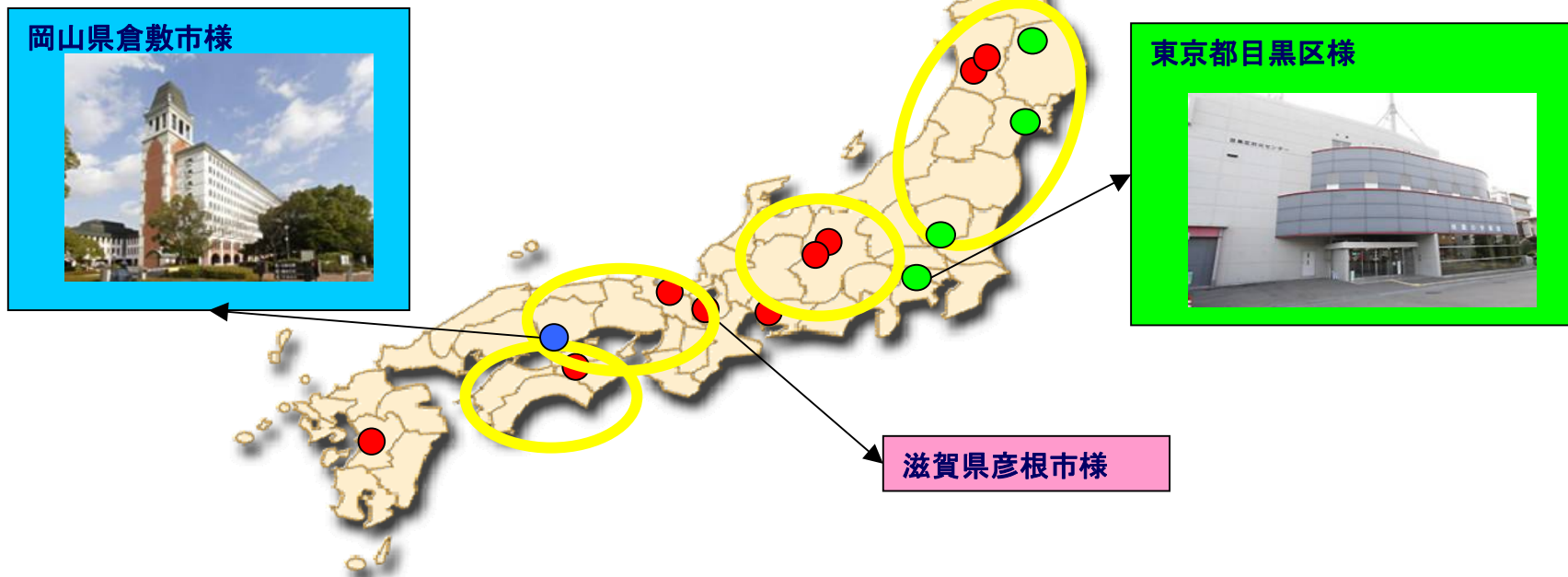
- ・ J-ALERTや緊急地震速報などの緊急情報を、既存の地域IPネットワークを活用して、住民に知らせるシステム
- ・ システム起動時間が短く、発信元の基地局(市役所や町役場など)と住民との双方向通信が可能

地域別取り組みについて ~日本地域~

新市場 着々と広がるTOAの「IP告知放送システム」

- 2007～(10年度完)
- 2008年度納入
- 2009年度納入
- 2010年度納入予定(18案件)

- ・ 2010年度も引き続き、納入させていただく予定
- ・ TOAの国内事業を支える一つの柱となってきた



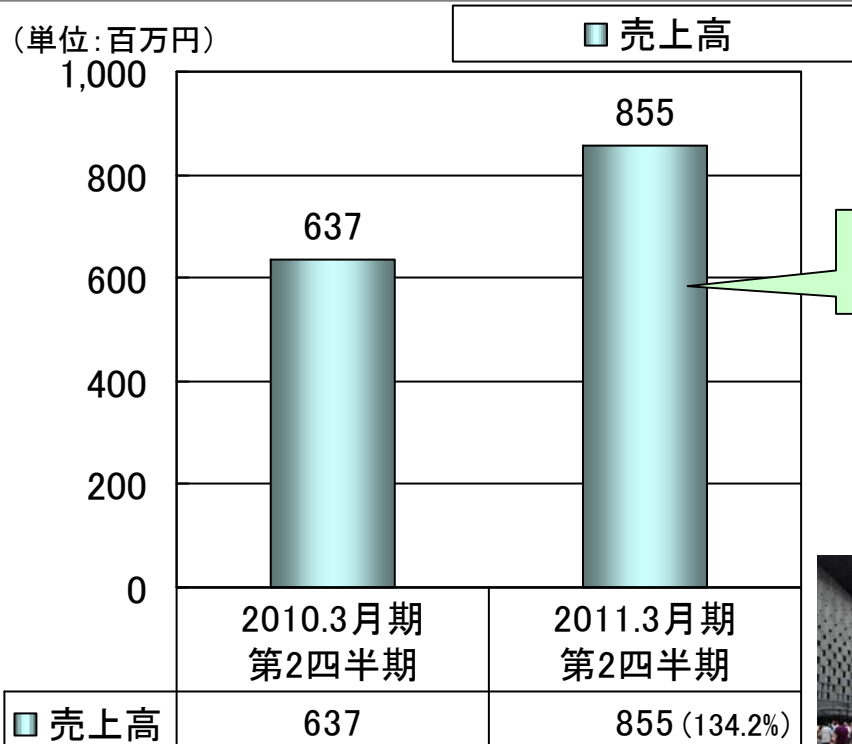
地域別取り組みについて ~日本地域~

TOA安心サポートメンテナンスパック

- ・「非常用放送設備」と「セキュリティ機器」の商品リース販売を開始
- ・ <機器のレンタル料金> + <設置・工事・調整費> + <保守メンテナンスサービス費> + <動産保険> がパッケージになっている
- ・ リース期間中の機器の性能を保障
- ・ リース期間終了時には、システム更新の提案をいち早く行うことが可能



地域別取り組みについて ～中国・東アジア地域～



上海万博関連案件



中国館



テーマ館



万博文化センター



万博センター



日本産業館と
日本館



- ・「中国館」「テーマ館」「万博文化センター」「万博センター」など、万博終了後も残されるメインパビリオンを中心に、約50件以上の関連の施設に納入

地域別取り組みについて ～中国・東アジア地域～

高速鉄道需要への取り組み

- ・ 高速鉄道の各駅舎の音響設備を順次受注中
- ・ 当期は「北京－上海線」「上海－南京線」「上海－杭州線」、西安駅などに納入済み

地域重点市場への取り組み



- ・ 学校市場や中小空港、地下鉄市場、チェーン店市場などに注力
- ・ ローカル商品 BGMシステムに適したアンプ「A-1000MK2シリーズ」発売
- ・ 中国で大きな市場である会議市場をターゲットにした商品も、近日発売予定

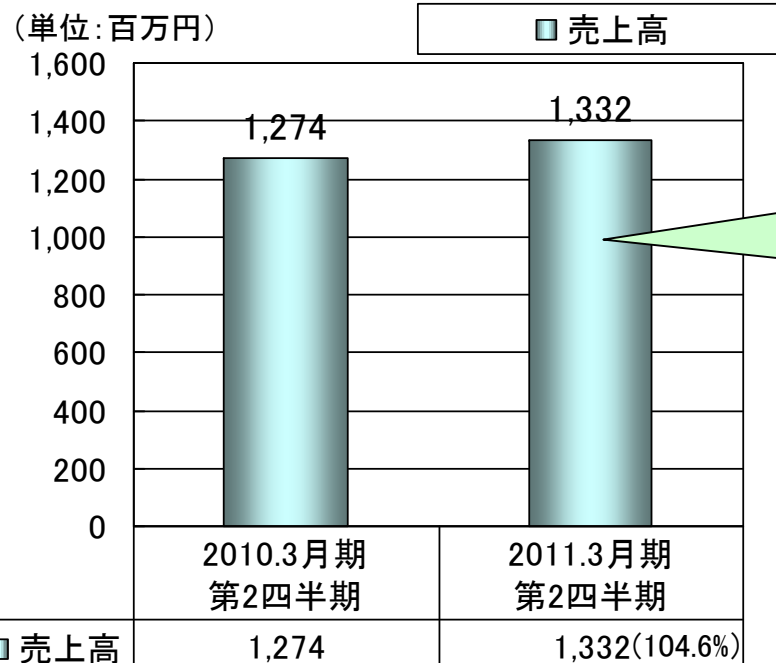


中国本土における高速鉄道納入事例図



A-1000MK2シリーズ

地域別取り組みについて ~アジア・パシフィック地域~



国別の売上高前期比

- ・インドネシア 前期比 110%
- ・タイ 前期比 108%
- ・ベトナム 前期比 101%
- ・シンガポール 前期比 88%

新たに2つの販社を設立

- ・インドネシア販社
PT. TOA-GALVA Prima Karya
- ・タイ販社
TOA Electronics (Thailand) Co., Ltd.

※(カッコ)内の数値は前期比

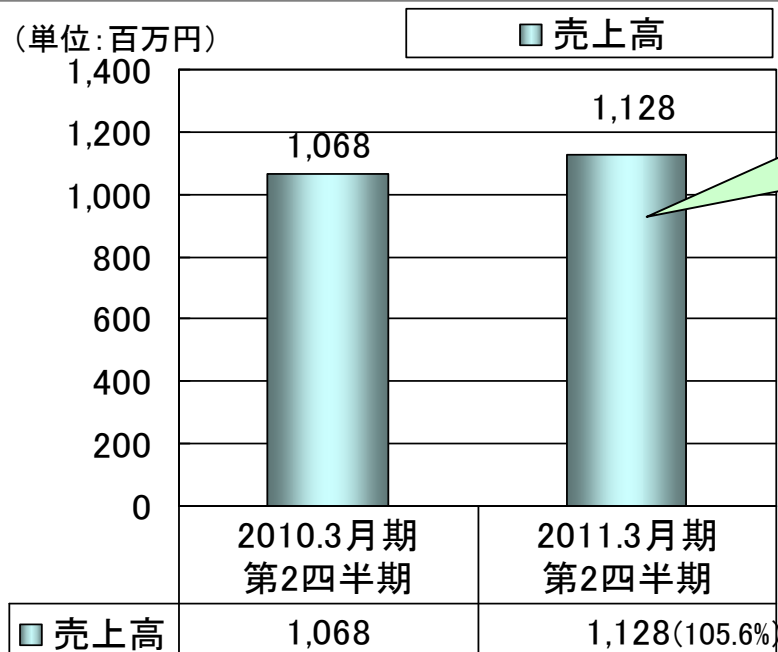
- ・ TOAでは約35年前から、インドネシアに子会社を設置し、商品の現地生産を開始
- ・ これまでは現地代理店を通して販売していたが、インドネシア販社設立により、現地ビジネスの推進体制が、より強力に
- ・ タイ市場も、大きな需要が見込める市場



タイ販社

TOA Electronics (Thailand) Co., Ltd.

地域別取り組みについて ~アメリカ地域~



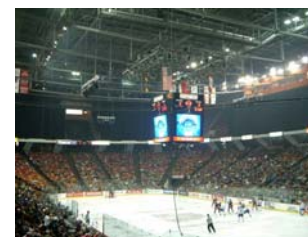
※(カッコ)内の数値は前期比

国別の売上高前期比

- ・アメリカ合衆国(中米を含む) 前期比 104%
- ・カナダ 前期比 129%
- ・南米 前期比 145%

カナダのターゲット市場

- ・アイスアリーナや学校市場など、市場を絞り込み、付加価値の高いシステム営業活動を実施



コップス競技場様



モンクトン大学(Track&Field スタジアム)様

販売方法の転換(アメリカ)

- ・設立以来続けてきたセールスステップ(販売代理人)に加えて、地域によっては自社営業担当による直接営業体制を開始
- ・新しい取引先との連携を強化し、更なる拡販活動を推進中

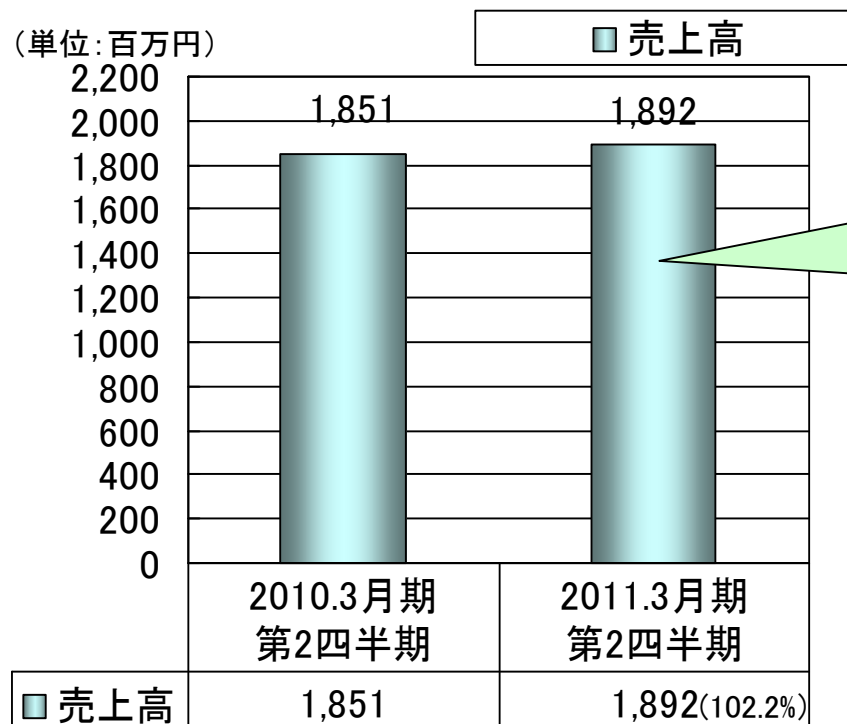
鉄道車両市場での取り組み



- ・今年1月、ニューヨークに、鉄道車両用の車内案内放送や防犯カメラシステムなどの設備を専門的に担当する子会社「TOA Communication Systems, Inc.」を設立
- ・現在、ニューヨーク市地下鉄当局の認定業者資格を取得するために、長期品質テストを実施中

地域別取り組みについて ～欧州・ロシア地域～

(単位:百万円)



※(カッコ)内の数値は前期比

国別の売上高前期比

- ・ドイツ 前期比 102%
- ・フランス 前期比 97%
- ・中東 前期比 178%
- ・南アフリカ 前期比 239%
- ・ロシア 前期比 206%

欧州・ロシア地域の市場動向

- ・昨年、新しく拠点を設立した南アフリカやロシアにおいても、大きな成果を出してきている
- ・ロシアにおいて、販売網の拡大に注力すると共に、主力産業である石油や天然ガスなどのユーザーとの関係を構築中

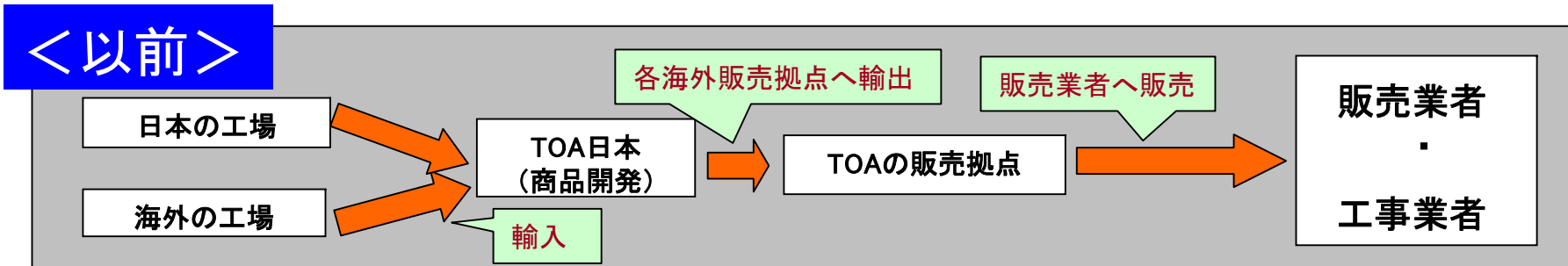
欧州非常用設備規格について

- ・欧州 (EU) では、2011年より、「欧州非常用設備規格」EN 54が義務化される予定
- ・TOAでは、既にアンプ1シリーズとスピーカー2機種の認定を取得済み
- ・今後、規格を取得していることが欧州でのビジネスにとって大きな強みとなる

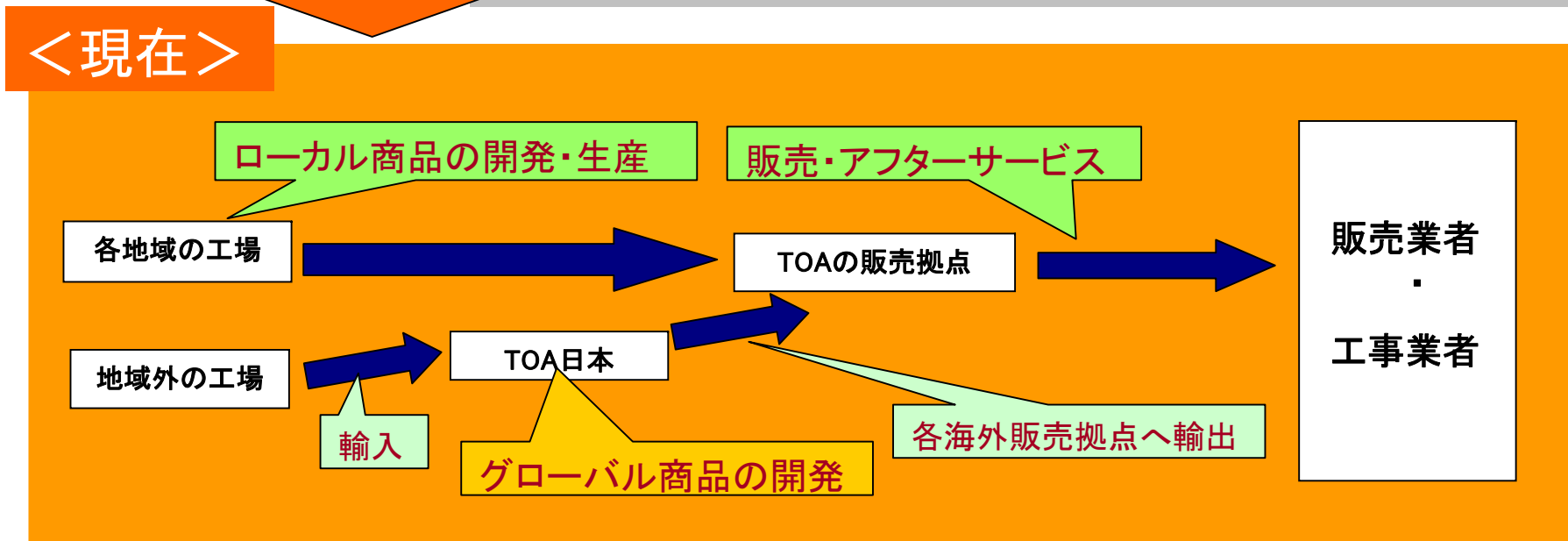


欧州非常用設備規格「EN 54」取得

中期6カ年経営基本計画の進捗状況～ビジネスモデルの転換



- ・前期は、「アジア・パシフィック地域」で集中的に中期6カ年経営基本計画を推進
- ・今期は「中国・東アジア地域」で同様の新たなビジネスモデルを構築し、稼働開始
- ・ハイエンド市場に加え、ミドル市場への展開を視野に、ローカル商品を順次開発予定



今期注目の新商品

デジタルステレオミキサー



ボタンひとつでプロの技を簡単操作

1Uサイズに様々な機能を凝縮したデジタルステレオミキサー

- ・ ミキサーは、様々な音を混ぜ合わせて音質や音量を調整する音響設備の中では、重要な役割を果たす機器
- ・ ミキサーの基本機能に加え、マイクロホン使用時に生じる「キーン」という不快な音（ハウリング）を自動的に抑える機能を搭載
- ・ 体育館や屋内プールなど、音が響き易く、はっきりと聞き取れない環境でも、聞き取り易い環境になるよう、音響調整を行う

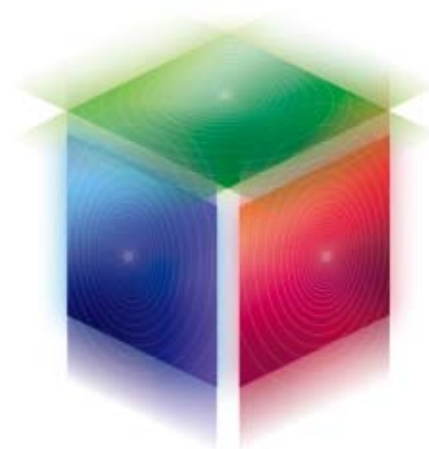
PTZカメラ



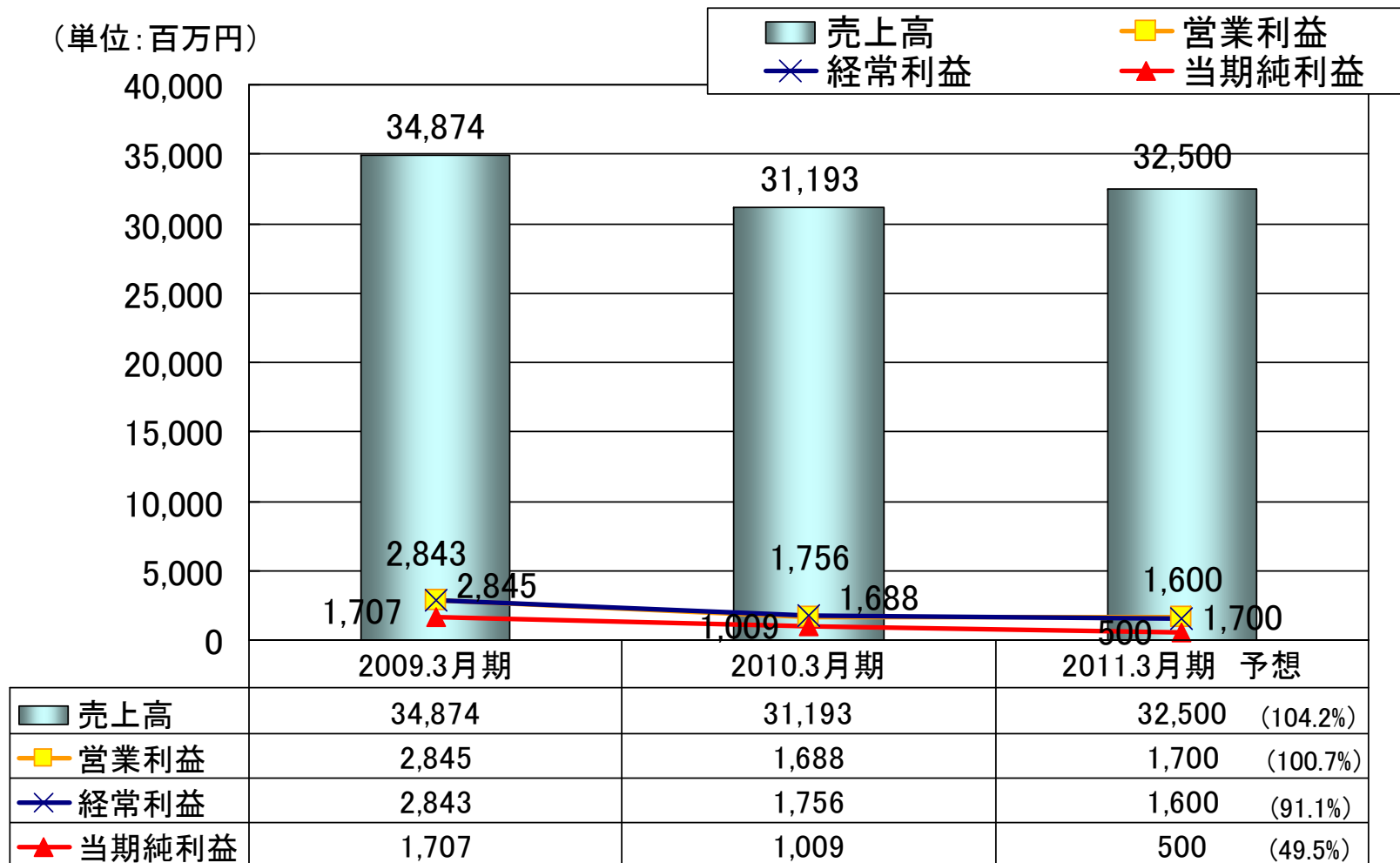
旋回、ズーム機能などを一体化した防犯カメラ「PTZカメラ」

- ・ カラーカメラと旋回台、電動ズームレンズ一体型の防犯カメラ
- ・ TOAの従来商品と比較して、高さ・直径とも約25%小型化
- ・ 従来のケーブル接続方式に加え、大型案件で需要が高いネットワーク方式の機種もラインアップ
- ・ 「逆光補正機能」「電子感度アップ機能」「デイナイト機能」を搭載し、昼夜を問わず鮮明な画像を撮影可能
- ・ その他、撮影してはいけない部分をグレーに塗りつぶす「プライバシーマスキング機能」や画面の中の動きのある部分を検出し、画像処理を施すことで、非常に見やすい映像再現が可能といった多彩な機能を搭載

2011年3月期の見通しについて



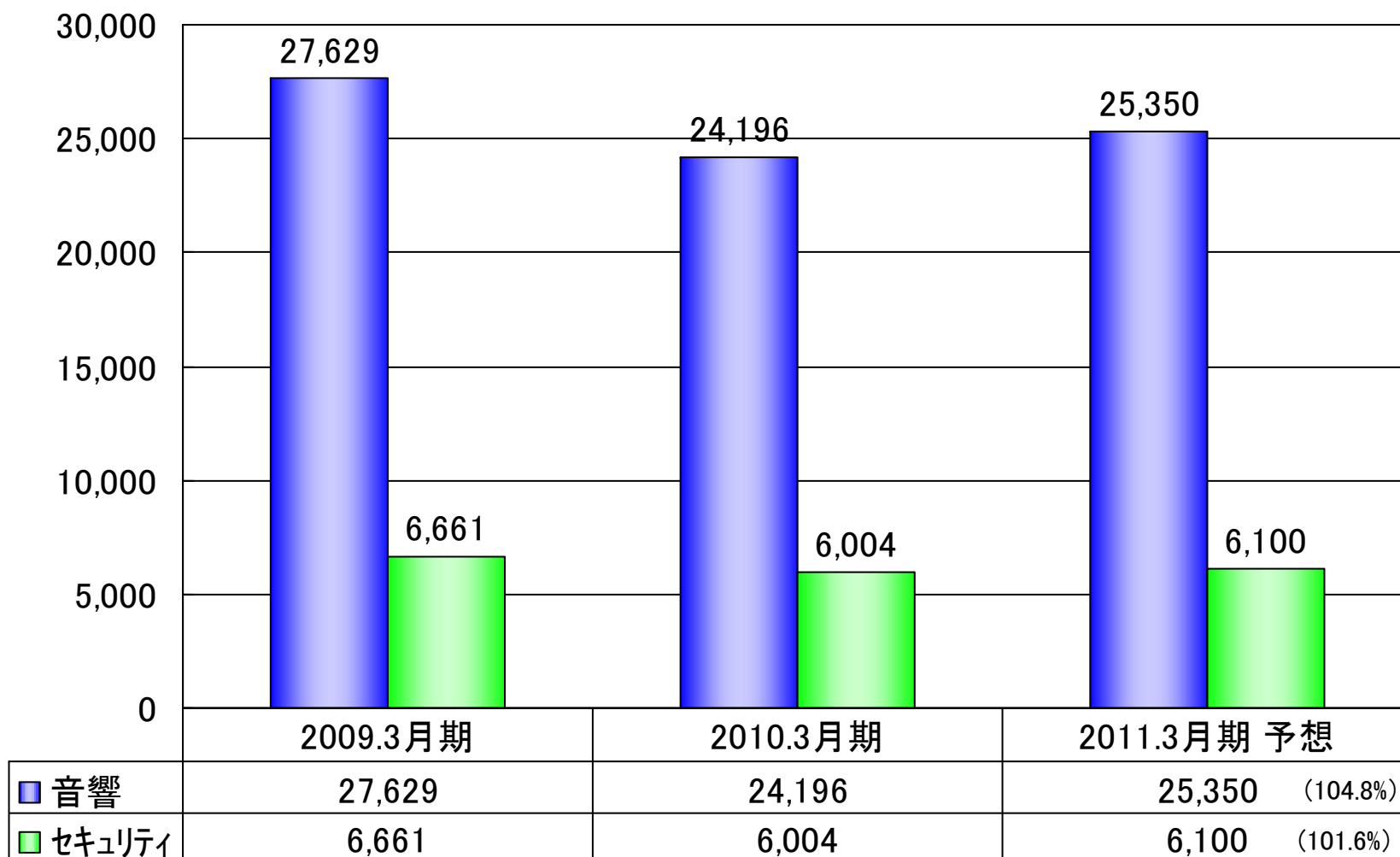
通期の見通し ～売上高・利益～



※(カッコ)内の数値は前期比

通期の見通し～事業セグメント別売上高【参考値】

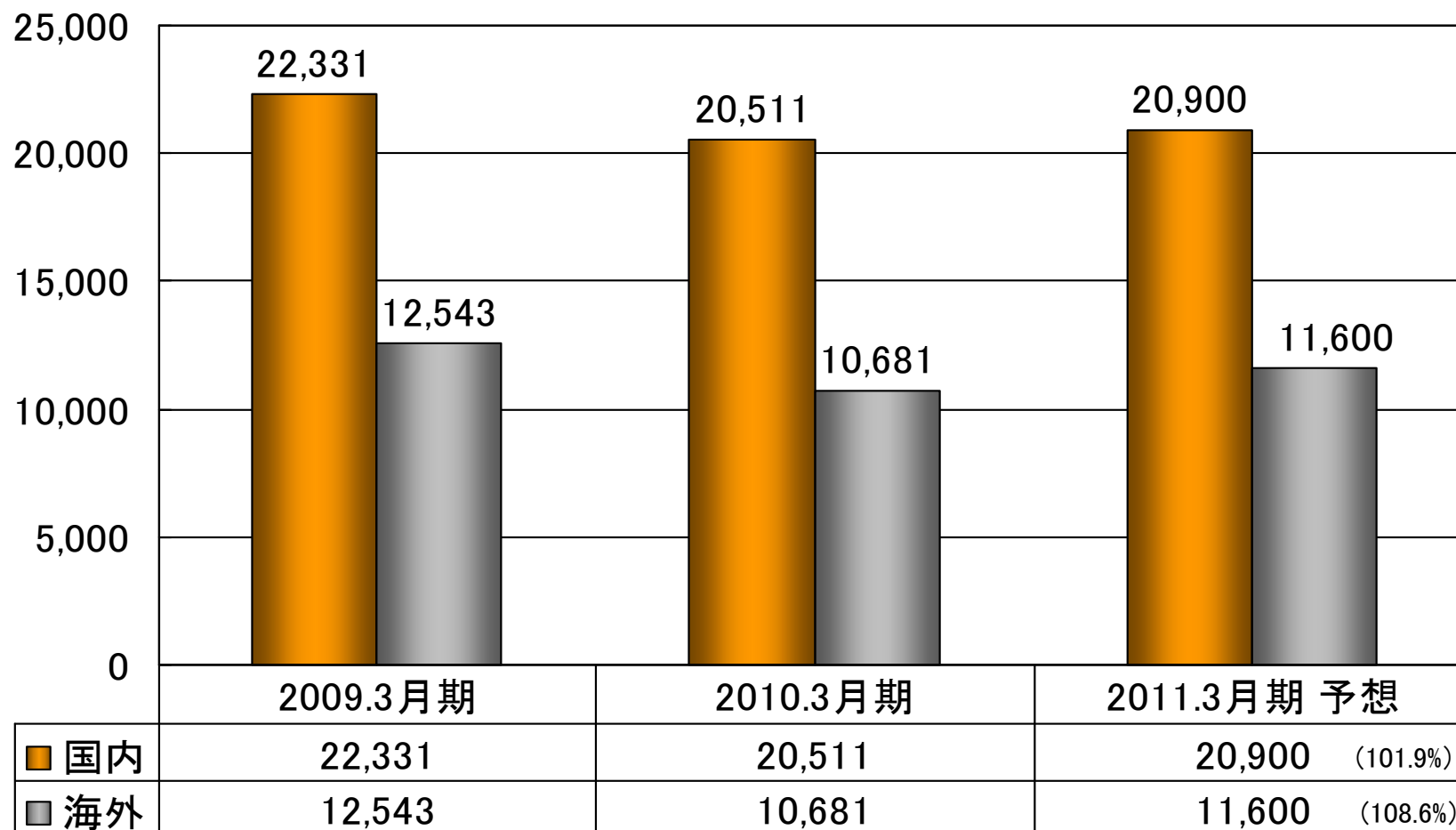
単位：百万円



※(カッコ)内の数値は前期比

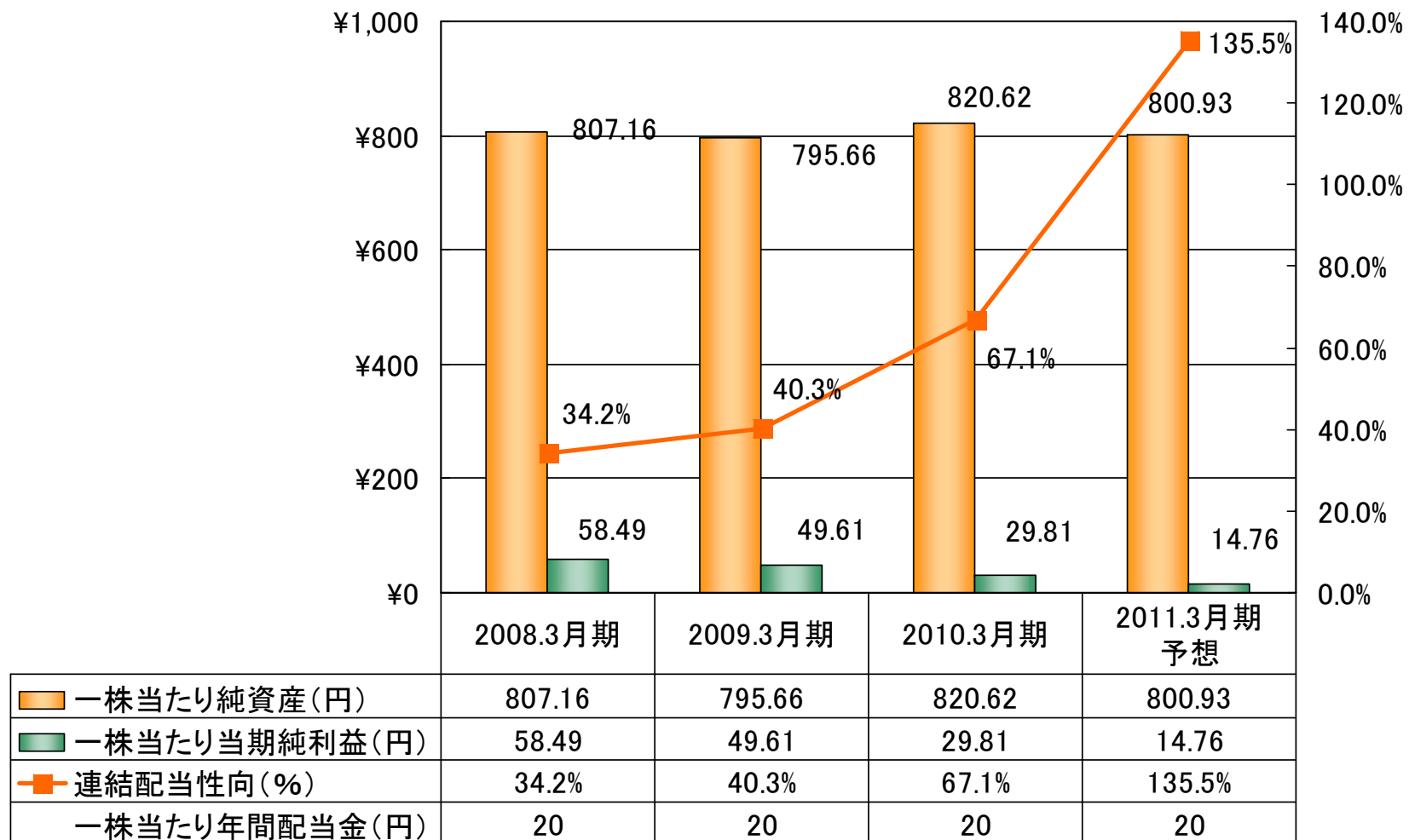
通期の見通し ～国内海外別売上高～

単位：百万円



※(カッコ)内の数値は前期比

通期の見通し ～ 配当～





将来の見通しについて



当社が開示する情報の中には将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、発表時点での情報に基づく予測であり、経済情勢等の変化によって大きく異なる結果となる場合があります。当社としましては、将来見通しの精度を高めるための努力をするとともに、見通しの変化が生じる場合には適宜開示いたします。



当社ホームページは投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断においておこなわれるようお願いいたします。



当情報の正確さや掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、なんらそれらの正確性を保証し、または責任を負うものではありませんのでご了承ください。